

デーリー東北
2019年(平成31年)3月12日(火曜日)(16)

企業の説明に耳傾け



学生が各企業から採用に関する説明を受けた就職懇談会

八工大で就職懇談会

八戸工業大は6~8月の3日間にわたり、同大体育館で就職懇談会を開いた。来春に卒業を予定する同大の3年生と大学院の1年生が参加。就職戦線は学生優位の「売り手市場」が続く中、各企業から説明を受けて会社選択の参考にした。

八戸工業大は6~8月の3日間にわたり、同大体育館で就職懇談会を開いた。来春に卒業を予定する同大の3年生と大学院の1年生が参加。就職戦線は学生優位の「売り手市場」が続く中、各企業から説明を受けて会社選択の参考にした。

八戸工業大は6~8月の3日間にわたり、同大体育館で就職懇談会を開いた。来春に卒業を予定する同大の3年生と大学院の1年生が参加。就職戦線は学生優位の「売り手市場」が続く中、各企業から説明を受けて会社選択の参考にした。

八戸工業大は6~8月の3日間にわたり、同大体育館で就職懇談会を開いた。来春に卒業を予定する同大の3年生と大学院の1年生が参加。就職戦線は学生優位の「売り手市場」が続く中、各企業から説明を受けて会社選択の参考にした。

八戸工業大は6~8月の3日間にわたり、同大体育館で就職懇談会を開いた。来春に卒業を予定する同大の3年生と大学院の1年生が参加。就職戦線は学生優位の「売り手市場」が続く中、各企業から説明を受けて会社選択の参考にした。

八戸工業大は6~8月の3日間にわたり、同大体育館で就職懇談会を開いた。来春に卒業を予定する同大の3年生と大学院の1年生が参加。就職戦線は学生優位の「売り手市場」が続く中、各企業から説明を受けて会社選択の参考にした。

(松原一茂)

森県内外から集まつた。

学生は各日、150~200人ほどが参加して各社のブースを回り、人事担当者から事業概要や人材育成の方針採用に関する情報などを聞いた。

大学生らを対象とした会社説明会は、今月1日に解禁された。同大では、現時点で学生の半数以上が地元就職を希望している一方、県外志望も多いという。

8日の就職懇談会に参加した電気電子工学科3年生の工藤光司さんは、「情報通信業や建設業に興味がある。首都圏の企業を希望しているので、競争を覚悟しながら就職活動を進めたい」と気を引き締めた。